

ひまわり

① 2021
JAN

もくじ

- 2 情勢 ~コロナ禍を乗り越え命を守る新しい時代の幕あけの年に~
- 3 2021年 今年もがんばります!
グループホームどんぐりころころオープン!!
- 4 第44次国会請願署名・募金運動にご協力をお願いします!!
- 5 新メンバー紹介
公益財団法人みずほ福祉助成財団様より助成金をいただきました
- 6 ちょっと聞いてよ! 第30回・時・ご寄付

冬のボーナスもらったよ! (かめおか作業所)

社会福祉法人 亀岡福祉会

○法人本部：〒621-0033 京都府亀岡市蔭田野町佐伯大門30-1

TEL:0771-24-2596 FAX:0771-24-2597

HP <http://www.kamecomyu.net/>

西村 直

TADASHI NISHIMURA

社会福祉法人亀岡福祉会
理事長コロナ禍を乗り越え命を守る
新しい時代の幕あけの年に

～亀岡福祉会ビジョン2025を形に!!～

2021年 あけましておめでとう
ございます。

昨年2月1日、「亀岡福祉会40周年記念事業」はガレリアかめおかの大広間を埋め尽くした参加者の下、つながりを広げてきた法人のこれまでの歩みと、多様化する願いに応えていくこれからの歩みを確かめ合う歴史的な成功を収めました。

新型コロナウイルスの

感染拡大

メンバーや家族、職員関係者が「4th」とプリントされたTシャツやパーカーを着て、新しい節目に向かって歩みだそうとした矢先、日本中、世界中を震撼させる前代未聞の事態が起こりました。新型コロナウイルスの急速な感染拡大です。4月7日には国の「緊急事態宣言」が発出され、京都府も「特定警戒都道府県」に指定されました。利用者、家族には感染をできる限り防止する立場で、通所の「自粛」をお願いせざるを得ない事態になりました。一向に収まることのない状況の中で、毎日の検温、徹底した手洗い、マスクの着用、間隔を空けた食事「三密」を

避ける窮屈な日常の生活、ハートフェスタ、旅行、夏のボーナス取り組み、ご苦労さん会等の行事、研修、会議等を縮小し、かつて経験したことのない「活動形態」「生活様式」を強いられました。そして、その「窮屈さ」は新年を迎えた今日も続いています。国や自治体も懸命の対応に奔走していますが、結果的に感染拡大が止まらず、「医療崩壊」や「トリアージ」(命の選別)という事態が広がっています。

私たちが今日まで大切にしてきた「つながること」「たぐさんの言葉のやり取りで通じ合い、理解や信頼を深めること」「たぐさんのイベントで新しい元気をもらうこと」などがコロナの影響で難しくなってしまったのです。

弱い者を排除する、
こんな社会でいいのか？

一方で「生きるか、死ぬか」の瀬戸際の選択を迫られる経験や「感染を自己責任にした、いわれない差別や排除の実態」を目の当たりにするなど、コロナ禍の中でこそ表出した社会の矛盾を経験したと言えるでしょう。今までよりもっと鋭い視点で「行政施策の優先順位はこれでいいのだろうか？」

「弱い者を排除する、こんな社会でいいのか」を問いなおす機会になったと言えないでしょうか。

新しい価値を持った
社会に生まれ変わる

2021年、今しばらくは手を抜かない「命と健康を守る感染防止対応」を徹底しつつ、今までに経験したことのない新しい視座で創り出す新しい社会は「コロナの前にもどる」のではなく、コロナの前とは違う「命と人権が輝く、新しい手のつなぎ合い、信頼と共感を育む」新しい価値をもった社会に生まれ変わることができるのではないのでしょうか。

社会福祉法人亀岡福祉会は40周年記念事業で市民の方々に高らかに宣言した「亀岡福祉会ビジョン2025」を一步ずつ形にする道のりの中で、そんな新しい社会づくりに貢献できることを願います。そのためにも2021年を新しい亀岡福祉会創りのスタートの年にしたいと決意をあたらしめています。

2021年、今年もどうぞよろしく
お願いいたします。



今年もがんばります!!



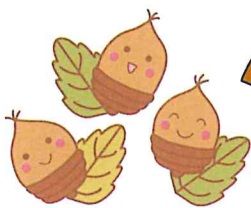
かめおか作業所は所長の話聞いて
気持ちも新たに仕事をスタート!!



第二かめおか作業所は恒例の
書初めをしました!!

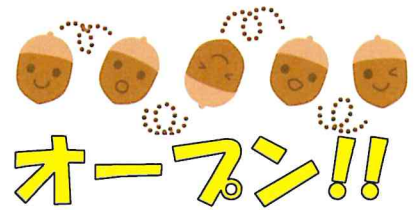


第三かめおか作業所とデイセンターぼれぼれは合同で
話があり、その後集合写真、ハイ!チーズ!!



グループホーム

どんぐりころころ



2020年11月に法人9つ目のグループホーム「どんぐりころころ」がオープンしました。マンションの1階に男性2人のどんぐりホーム、2階に女性2人のころころホーム、2つ合わせて1つのグループホームどんぐりころころです。この名前は、利用メンバーの顔合わせの時にみんなで考えて決めました。みんながイメージできるかわいい名前です。

創設から43年が経過した亀岡福祉会の利用者ごと家族の中には高齢化が進みご家庭での生活が難しくなっている方が増えています。昨年、1室の空きができたグループホームの利用希望を募ると7名の希望者がありました。どの利用者もご家族もグループホーム利用の緊急性が高い方ばかりでした。急きよ、すでに開所しているマンションの空き室を利用させていただき、5名をグループホームで受け入れる準備を進め無事開所することができました。

初めてのグループホームでの暮らしは、期待と不安が入り混じり、「1人で寝れるかな?」「帰りたいかな?」「1人で寝れるかな?」と心配しながら、顔なじみのメンバーや職員がいることで、安心して生活されています。食器洗い、洗濯、掃除は任せてと張り切る人、ゆつたりのんびり自分のペースで過ごす人、それぞれのしたいことがたくさんできるホームになればいいなと思います。入居初日は、お寿司でささやかなお祝いをしました。

初めてのクリスマスには、ホールケーキとクリスマスプレゼントが届きました。これからはたくさん初めての経験を重ねて、自分らしくらしを作っていけるホームにしていきたいと思えます。